

インドネシア新規石炭火力 I P P 案件の概要

| | |
|------------|--|
| 地点 | インドネシア共和国中部ジャワ州バタン県 |
| 発電方式 | 超々臨界圧（U S C : Ultra Super Critical）石炭火力発電 |
| 出力 | 200 万 kW（100 万 kW× 2） |
| 燃料 | インドネシア産 亜瀝青炭 |
| スキーム | BOOT（Build-Own-Operate-Transfer）方式 |
| 出資者 | 電源開発(株) 34% アダロ社 34% 伊藤忠商事(株) 32% |
| 電力販売先および期間 | 販売先：P L N（インドネシア国有電力会社） 期間：運転開始後 25 年間 |
| 保守運営 | PT. BHIMASENA POWER INDONESIA（事業会社）にて実施 |
| 工程（予定） | 平成 24 年（2012 年）10 月 着工 平成 28 年（2016 年）末頃 1 号機運転開始 平成 29 年（2017 年）中頃 2 号機運転開始 |

■ PT. BHIMASENA POWER INDONESIA について

会社名 : PT. BHIMASENA POWER INDONESIA
 本社所在地 : インドネシア共和国ジャカルタ
 事業内容 : PLN 向け電力販売事業(IPP 事業)
 設立 : 平成 23 年 7 月
 出資者 : J パワー 34%
 アダロ社 34%
 伊藤忠商事 32%

